

長野・依田窪福祉社会に行ってきました

【日程】

《H28/6/26》

・見学

『ともしび』

・事業報告会

《6/27》

・見学

『G・H和田』

『デイ長久保』

『大門の家』



依田窪福祉社会の平成28年度第一回事業報告会にかずさ萬燈会の代表として行ってきました。

28年NHK大河ドラマ(真田丸)の舞台となっているため、上田駅周辺は観光客が多く、また、蛍の里では蛍がきれいに飛んでおり、幻想的な雰囲気でした。

今回の参加メンバーは4名です。

発表テーマ:『誰のためのケアなのか明確にします』

発表者:園部亜弓、高橋さをり

同行者:渡邊美智子、長谷川直紀

《事業所説明と特養ともしび見学》

依田窪福祉社会特養ともしびの山崎施設長から施設説明をして頂き、見学を行いました。ご利用者様一人一人が自分の時間を大切に過ごしていると感じました。朝にはラジオ体操、歌をうたい、スタッフとの交流の場面もたくさんありました。



《事業報告会》

スタッフ、地域の方を含めて約100名の方が参加されていました。10事業所の発表があり、地域密着を図る為に地域の方々との交流も多く、一緒にイベントに参加する事で信頼関係に繋がり、地域に溶け込んで過ごされているように感じました。

また、看取りの中で個人一人一人のことを考えており、特養「ともしび」ではご利用者様終末最後の時に「蛍の光」をハーモニカで演奏してお別れをされていたことが大変印象的でした。介護方針の「ゆっくり、いっしょ、わがまま」の方針に沿った発表内容でした。

《法人内事業所見学》 地域密着を目指す中で、ご自宅と同じような雰囲気の中で過ごすことが出来る環境作りをしている事が印象的でした。事業所見学をしていく中で気になったことは防災の危機意識です。どこの事業所も玄関に災害時の荷物やヘルメット、防災頭巾を置いてあり、すぐの使用が可能になっていました。落ち着いた環境の中でご利用者様、スタッフともに過ごせる事は素晴らしいことだと思いました。



《終わりに》 今回、発表者・同行者含めて4名での参加となりました。他事業所を訪れることが少ない為、見学や発表を聴くことで大きな刺激になりました。「自分の部署に持ち帰った時にどう改善していこうか」「まず出来る事から始めよう」とスタッフ全員が心熱くなる研修になりました。私達、「かずさ萬燈会での職員スキルアップ、育成に力を入れて下さっていることに感謝致します。」【中郷記念館新館3階:長谷川 直紀】

